

(款) 15民生費 (項) 10児童福祉費 (目) 15母子福祉費

◎母子等福祉の経費

母子生活支援事業

【 こども相談課 】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 母子家庭等(ひとり親家庭)

意図 母子家庭等(ひとり親家庭)の生活の安定と自立の促進を図るため。

効果 母子家庭等(ひとり親家庭)の安定した生活の維持

【事業の内容】

(1) 母子生活支援事業

- ・離婚などで父親と生計を同じくしていない児童の養育者に対して児童扶養手当法に基づく手当を支給した。
- ・ひとり親への支援として母子家庭高等技能訓練促進費の支給及び家賃助成を行った。
- ・遺児が中学校を卒業するにあたり卒業祝金を、ひとり親家庭等の児童が大学に進学する際に支度金を贈呈した。

【中事業に含まれる実施計画事業】

母子家庭の自立支援(4-1-4-⑳)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
299,020	306,020	301,357		4,663
主な支出内訳				
・ 母子生活支援事業				
母子自立支援員報酬 2人				5,107
児童扶養手当認定医報酬				0
遺児卒業祝金 贈呈件数 14件				420
ひとり親家庭等児童大学進学支度金 交付件数 20件				1,200
児童扶養手当消耗品費				66
ひとり親家庭等日常生活支援業務委託料				0
児童扶養手当システム改修業務委託料				2,625
鎌倉市母子寡婦福祉会補助金				85
母子家庭自立支援教育訓練給付金補助金				0
母子家庭等家賃助成 助成世帯 298世帯				24,408
児童扶養手当 受給資格者数 710人				265,773
母子家庭高等技能訓練促進費				1,030
母子等福祉資金貸付金				0
主な特定財源				
・ 国県支出金				
				100,565



平成21年度事務事業評価シート

創意・工夫・課題等改善状況	課題・問題点	(20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) ・ひとり親家庭に対する事業の検討と推進を行う。
	創意・工夫・課題等の改善点 20年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) ・ひとり親家庭に対する事業の一つである家賃助成制度について充実を図るため、神奈川県に対して要望を行った。
	未解決の課題・問題点	(20年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) ひとり親家庭に対する事業について引き続き検討を行う。
	今後の方針(対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) ひとり親家庭の望む事業について把握を行うため、児童扶養手当の現況届において調査を行う。

一次評価(課長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	A	改善の必要性 有
	ひとり親家庭の自立支援相談により要望を捉え、的確な支援の検討を行う。				
担当課長氏名:		こども相談課長 田中誠也			

二次評価(部長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	A	改善の必要性 有
	離婚数の増加によりひとり親家庭が増えている。ひとり親家庭の生活の安定と自立に向けた事業を進めていく。				
担当部名	こどもみらい部	部長名	岡部 富夫		